

風しん抗体検査の結果、抗体価が低い(陰性)と判定され、 風しんの第5期の定期接種(麻しん風しん混合ワクチン)を受けられる方へ ～予防接種を受ける前に必ずお読みください～

【対象者】

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性で、抗体検査を実施した結果、十分な量の風しんの抗体がないことが判明した人、または、平成26年4月1日以降の風しん抗体検査の記録があり、その結果、十分な量の風しんの抗体がないことが判明している人。

※十分な量の風しんの抗体がないとは、HI法8倍以下(希釈倍率)、EIA法6未満(EIA価)または15未満(IU/ml)、ELFA法25未満(IU/ml)、LTI法15未満(IU/ml)、CLETA法20未満(IU/ml)または11未満(抗体価)、FIA法1.5未満(抗体価AI)または15未満(IU/ml)をいう。

【接種期間】

2025(令和7)年3月31日まで

※国の方針により実施期間が延長されました。接種回数は1回です。

接種の際には、風しんの抗体検査の結果及び同封の予診票を医療機関へ持参してください。

医療機関によっては予約が必要な場合があります。必ず事前に接種医療機関へお問い合わせください。

【風しんとは】

風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は2～3週間です。軽いかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。そのほか、眼球結膜の充血もみられます。発疹も熱も約3日間で治るので「三日ばしか」とも呼ばれることがあります。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。

妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、先天性風疹症候群と呼ばれる先天性の心臓病、白内障、聴力障害などの障害を持った児が生まれる可能性が非常に高くなります。対象の男性は、過去に公的な予防接種を受ける機会がなかったため、自身が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに広げてしまうおそれがあります。そのため、この年代の男性の皆様が免疫を持つと風しんの流行を抑えるといわれています。

【MRワクチンの効果と副反応】

麻しんウイルス及び風しんウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。麻しん又は風しんのいずれかにかかった方にも麻しん風しん2種混合(MR)ワクチンを使用することが可能とされています。

副反応の主なものは、MRワクチンでは発熱と発疹です。他の副反応として、注射部位の発赤・腫脹(はれ)、硬結(しこり)などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんなどがみられます。これまでの副反応データから、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの副反応が、まれに生じる可能性もあります。

➡裏面に続きます

【予防接種を受けることができない場合】

当該予防接種に相当する予防接種を受けたことのある者で、当該予防接種を行う必要がないと認められる人

明らかに発熱（37.5℃以上）がある人

重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人

過去に麻しん風しん混合ワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシー(※1)を起こしたことがある人

(※1) 通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことで、汗がたくさん出る、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出るほか、はきけ、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状やショック状態になるような、はげしい全身反応のこと。

風しんに係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体があることが判明し、定期の予防接種を行う必要がないと認められる人

その他、医師が不適当な状態と判断した人

【予防接種を受ける際に注意を要する場合】

下記に該当する場合は、かかりつけ医または専門医療機関で予防接種を受けてよいかどうかを判断してもらいましょう。

心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患を有する人

予防接種で、接種後2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常があった人

過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある人

過去に免疫不全の診断がなされている、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人

ワクチンにはその製造過程における培養に使う卵の成分、抗生物質、安定剤などが入っているものがあるので、これらにアレルギーがあるといわれたことのある人

輸血又はガンマグロブリン製剤の投与を受けた方は、通常3か月以上間隔をおいて接種します。

新型コロナワクチンを接種された後は、接種後2週間以上の間隔をあけてください。

【予防接種を受けた後の一般的注意事項】

予防接種を受けた後30分間程度は、医療機関で観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。

接種後、4週間は副反応の出現に注意しましょう。

接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位を擦ることはやめましょう。

接種当日は、はげしい運動は避けましょう。

接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

お問い合わせ先

南山城村保健福祉センター ☎0743-93-0294